

ごみステーションに出せないもの

排出禁止物 〈帯広市廃棄物の処理及び清掃に関する規則 第12条〉

- ・最大の辺が2m(材木などは直径20cm)を超えるもの、容量が2m³を超えるもの、重量が100kgを超えるもの
- ・エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機(P8参照)
- ・収集、運搬、処分する機材、施設を著しく汚損し、損壊する恐れのあるもの
- ・収集、運搬、処分の際、作業員の安全衛生上、特に危害を及ぼすもの

オイル(液状)

●廃オイル等

販売店・取引業者に相談



⚠ 空になったオイル缶は「燃やさないごみ」の指定ごみ袋に入れて出してください。

液状のものは、前処理(凝固剤を使用、または布か紙に染み込ませる)をしてから「燃やすごみ」の指定ごみ袋に入れて出すことができます。(P1参照)

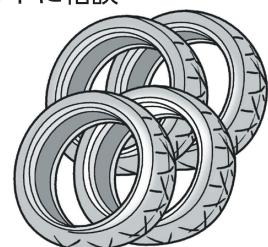
消火器

(一社)日本消火器工業会(消火器リサイクル推進センター)(電話03-5829-6773)が設置した特定窓口・指定引取場所で回収



タイヤ

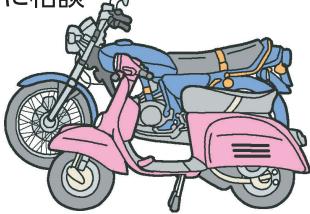
廃タイヤ取扱協力指定店・販売店・ガソリンスタンドに相談



⚠ 自転車・50cc以下のオートバイのタイヤは「燃やさないごみ」に出してください。

オートバイ・スクーター

購入先か二輪車リサイクルコールセンター(電話050-3000-0727)に相談



バッテリー

販売店・ガソリンスタンドに相談



農薬

近所の方に譲るなどして使い切る使い切れない場合は販売店・メーカーに相談



ガスボンベ

購入先で引き取り



ピアノ

販売店に相談

パソコン

P10またはP27参考⑥参照

ウォーターベッド

販売店に相談

ガソリン・灯油

販売店・ガソリンスタンドに相談

事業系ごみ

自ら処理するか、許可業者に依頼

不法投棄は禁じられています!

- 不法投棄した者は、5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金、またはこの併科
(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第25条第14号)
- 法人の不法投棄に対しては3億円以下の罰金
(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第32条第1項第1号)

廃棄物を適正に処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的に一般廃棄物及び産業廃棄物の不法投棄は法律で禁止されています。

市では、パトロールなどの監視を強化し、関係機関と連携し対応しています。

野外焼却は禁じられています!

- 廃棄物の焼却をした者は、5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金、またはこの併科
(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第25条第15号)

野外焼却は、煙、すす、悪臭により周囲の人に迷惑をかけるだけではなく、ダイオキシン類や塩化水素などの有害物質発生の原因となります。

平成13年4月から、基準に従わない野外での廃棄物の焼却には厳しい罰則が適用されています。